

Title	編集後記
Sub Title	
Author	古田 大島
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1970
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.63, No.2 (1970. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	高木寿一教授退任記念特集号
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19700201-0115">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19700201-0115</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次 号 目 次

論 説

アメリカ労働運動の経済への影響……………川 田 寿

1860年代におけるイギリス労働運動と労使関係  
 —1868年の労働組合総評議会 (Trades Union Congress) の成立を中心として〔3〕—「合同」主義  
 ('Amalgamated' principle) の意義について……………飯 田 鼎

国内純移動人口の検討……………西 川 俊 作

研究ノート

アメリカ西漸運動……………中 村 勝 己

極大利潤追求の終焉と新しい企業目標  
 —ガルブレイスの「新しい産業国家」における  
 売上高最大成長率説のひとつの解釈—……………小 嶋 光 昭

ノート・コメント

有効需要、過剰設備および物価水準  
 —補充と訂正—……………田 中 宏

前 号 目 次

論 説

1860年代におけるイギリス労働運動と労使関係  
 —労働組合総評議会の成立について〔2〕—  
 1867年の第2次選挙法改正をめぐって……………飯 田 鼎

法人税帰着のクロス・セクション分析  
 —集中度・利潤率比モデル: Kilpatrick モデル—……………古 田 精 司

生産と消費の矛盾(2)  
 —恐慌論研究のために—……………井 村 喜 代 子

鋼鉄への転換点における  
 イギリス製鉄・鉄鋼業の分析……………栗 本 慎 一 郎

研究ノート

株式会社における所有と機能……………飯 田 裕 康

書 評

リチャード・N・クーバー著  
 『相互依存の経済学』  
 —大西洋共同体における経済政策—……………深 海 博 明

編 集 後 記

高木寿一先生は幼稚舎生より名誉教授まで純粹の「慶應義塾人」として六十年の歩みを買ぬかれた。この特集は先生の限りなき学問的道程を記念する一里程碑として編集された。

先生は経済史研究を始めとし財政理論、各国財政類型論、財政史、財政思想史の比類なき広大な研究領域を手中に統一され、また各分野においてパイオニア・ワークを陸続として公けにされている。先生の研究がカバーされた領域があまりにも広大であるだけに、またいずれの研究領域でも先鞭をつけられているだけに、少なくともわが国の後進研究者はすべて先生の偉大な業績のみえざる恩恵に浴しているといっても過言ではない。とりわけ財政の発展法則と財政思想史の研究領域では、世界にさがかけて体系的開拓に尽された功績は、先生のほかに帰すべくもないといわねばならない。

先生の学风も研究と並んでわれわれ門下に洩りしれない影響をもたらしている。学問上の論争は進んで歓迎され温かな包容力と豊かな親和力で議論を展開されるが、真理こそあらゆる個人的自意識に優先するという価値基準そのものを先生はつねに体現せられている。今もって先生御自身が真理へのインパーソナルな献身をわれわれ後進一同に示され、絶え間なき前進の巨歩を片時も休むことなく進められている。われわれ門下一同はこの学风を誇りとし播ぎなく継承せねばならないと信ずる。とくに研究者の主体性を確立するに当っては、先生の学风との連続かつ不変の統合過程(アイデンティティ)が要請されるはずである。

高木寿一先生の一層の御健勝を祈るとともに、先生の下ではぐくまれ果立ったわれわれが、先生から托された重大な使命をつつがなく果すべく先生の御期待にさきかなりと応えうることを念願するものである。  
 (古田, 大島)

◎ 三田学会雑誌 第63巻 第2号

昭和45年(1970)2月1日発行 定価200円 千12円

編集兼 慶應義塾経済学会 郵便番号108  
 発行人 代表者 中鉢正美 東京都港区三田2丁目15-45  
 電話03-453-4511  
 振替口座番号 東京44056

購読料 1ヵ年2400円, 6ヵ月1200円(送料共)

発売所 慶應通信 郵便番号108  
 (購読料を添えてお申込み下さい) 東京都港区三田2丁目19-30  
 電話03-451-3584  
 振替口座番号 東京155497

印刷・製本 図書印刷株式会社